阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友の会通信

2019-2020
No.2（通巻80号）
2019.9.15発行

■ 目次　秋の研修旅行のご案内 …… 1
友の会サークルだより …… 2　会員の研究ノート …… 3
企画展 ／ サロンコンサートvol.17 ／ 友の会伝言板 ／ 編集後記 …… 4

発行：吉田東伍記念博物館友の会　〒959-2221 阿賀野市保田1725−1（阿賀野市立吉田東伍記念博物館内）
TEL 0250-68-1200　FAX 0250-68-5016　web版友の会通信 http://wind.ap.teacup.com/togo/

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html　E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

秋の研修旅行のご案内

～吉田東伍博士の講演地・群馬県太田市と岩宿遺跡・足利学校～

恒例の秋の研修旅行は、吉田東伍が明治44年（1911）に歴史地理学会に招かれて講演した群馬県太田市と、「日本考古学史の黎明」岩宿遺跡、そして、「日本最古の学校」足利学校を訪ねます。晩秋の紅葉を眺めながら、吉田東伍が終生の研究テーマとした利根川水系とその周辺の史跡・博物館をめぐります。

吉田東伍（40歳代前半の頃）

期　日　**令和元年 11月7日（木）・8日（金）（1泊2日）**

集合場所・時間　**安田体育館駐車場集合：午前8時**
新津駅西口集合：午前8時30分

宿　泊　**やぶ塚温泉ホテルふせじま（群馬県太田市　TEL0277-78-2321）**

行程（予定）

①11月7日（木）
8:00 安田体育館駐車場集合・出発 → 8:30 新津駅西口集合・出発 → 磐越道・関越自動車道（途中休憩あり） → 11:30 赤城高原SA（自由昼食） → 13:30～16:30 群馬県太田市内見学～新田荘歴史資料館・歴史公園・長楽寺（ガイド付）／縁切寺満徳寺資料館ほか～ →
17:00 やぶ塚温泉ホテルふせじま（宿泊）

②11月8日（金）
8:45 ホテル出発 → 9:00～10:30岩宿遺跡・岩宿博物館（群馬県みどり市）→ 11:00～13:30 史跡足利学校・鑁阿寺（栃木県足利市、見学・昼食）→ 13:30 出発～東北・磐越自動車道（途中休憩あり）～ →
18:00安田体育館駐車場帰着 → 18:30 新津駅西口帰着

定　員　**20人（先着、最少催行人数 15 人）**

参 加 費　**28,000円（非会員 30,000円）**
※参加費には交通費・宿泊費・入館料・保険料・写真代等が含まれます。
※初日の昼食のみ赤城高原ＳＡでの自由昼食となります（参加費に含まれません）。
※非会員の方は当日入会大歓迎です。

申し込み　**10月27日（日）までに博物館へ電話**
※申し込み時に集合場所と生年月日（保険加入のため）をお知らせください。
博物館友の会事務局　TEL0250-68-1200

ココがみどころ！

「郷土の地理・郷土の歴史と言うものは、とりもなおさず郷土の未来へ向かってその応用を待つものである」。博物館、そして、友の会の活動テーマともいえるこの吉田東伍の言葉は、明治44年（1911）8月16日に群馬県立太田中学校（現太田高校）で開催された歴史地理学会における一節です。東伍は、利根川水系の災害史を主題とした講演「新田郡の治水墾田」をこの言葉で結び、地域の歴史を見つめなおすことの大切さを説きました。

今回の研修旅行では、学会の開催テーマであった中世武士団新田氏・足利氏に関する史跡・博物館もめぐります。宿泊地のやぶ塚温泉は、「新田義貞の隠し湯」といわれています。108年前の講演をゆかりにした友の会ならでは企画です。ぜひご参加ください。

友の会サークルだより

会員有志によるサークル活動の近況をお知らせします。会員であればどなたでも自由に参加することができます。活動の詳細はお気軽に事務局までお問い合わせください。

再始動します！「白河荘を歩く会」

「白河荘を歩く会」は、阿賀野市とその周辺に広がっていた中世荘園・白河荘（しらかわのしょう）に関する史跡をめぐるサークルです。しばらく活動を休止していましたが、歴史探索の原点・安田城跡の現地踏査を機に再開します。　（責任者：小林弘・田中洋史）

安田城跡を歩く（平成21年4月16日例会）

10月例会　令和元年10月14日(月祝) 9:00～12:00

集合場所：市立吉田東伍記念博物館
活動内容：安田城跡・安田八幡宮の見学（荒天の場合は学習会）
参加費（資料代）：100 円
申し込み：前日までに博物館へ

参加者募集！　「能を愉しむ会」

吉田東伍生家（旧旗野邸）を活動の「舞台」に能楽の世界を楽しんでいます。現在、参加者募集中です。見学も可能です。　（責任者：長谷川明一）

定例活動日 ／ 毎月第2・4水曜日　13:30～15:00
活 動 場 所 ／ 市立吉田東伍記念博物館 附属 吉田東伍生家（旧旗野邸）大広間

友の会天文部　『星空への招待2019』を中止します

昨年に続き、安田ショッピングセンター・ウィンディでの観測会を計画しておりましたが、天体望遠鏡の故障により本年度の活動を休止せざるを得なくなりました。誠に申し訳ございません。紙面をお借りしまして、これまでの活動報告と望遠鏡故障について少し事情をお話したいと思います。

7月6日（土）に今年最初の観測会を開催し、わずか15分程度ではありましたが、8名の参加がありました。翌日は七夕祭りの日曜ということで、どうしても観測会をやりたいと考えていました。そして望遠鏡も良いコンディションすべく、以前から気になっていたレンズのゴミと汚れを掃除しようと思いました。今思えば、本当に余計なことをしてしまいました（涙）。

望遠鏡のレンズはとても柔らかくてデリケートなものです。それが望遠鏡本体にキツめにはめ込まれているのですが、慎重に外して清掃し、再度はめ込むときにトラブルが起きました。詳細は省きますが、すぐにメーカーに電話相談してみると、とりあえずサポートに送ってくれと、直るかどうかは見てみないと分からない。また、非常に混んでいるので、見積もりが出るまで3～4ヶ月待ってほしい、とのことでした。金額も数万円かかる見込みですが、もしかしたら直らないかもしれません。発足したばかりの天文部にいきなりの試練ではありますが、今はメーカーを信じて祈るほかありません。

なお、年度末に星や宇宙をテーマにした研究発表会を予定しています。こちらは中止にならないよう、準備を進めてまいります。詳細が決まりましたらお知らせしますので、その際はよろしくお願いします。

（責任者：廣田正博）

会員の研究ノート

安 田 城 跡

吉田東伍記念博物館友の会会員　小　林　　弘

阿賀野川右岸。ツベタ川が合流する地点には旧河川跡や沼沢地が広がり、沖積地平野の微高地上に築かれた平城で東方4.5㎞の城山（440.5m）を要害としたのが安田城という。中世の後半になり単郭を複郭の縄張りとし現在に面影を残す安田城になった。現在、公園や、体育館、野球場などの公共施設になっていてかなり攪乱されているが、本丸の南西隅に土塁痕、周囲に２重の堀跡が確認できる。城ノ内と呼ばれている場所にグランドがあり、当時の城域がグランド付近にもおよんでいた可能性がある。

鎌倉幕府が成立すると、文治元年（1185）安田城跡のある一帯に伊豆の関東御家人大見家秀（家政）が地頭に補任された。後に白河荘は上条（安田）、下条（水原）に分立し孫の時実（初代安田氏）が当地を領した。他に惣家大見氏の庶子家水原氏、水原氏から山浦氏が庶子家に別れ、南北朝から戦国時代を通じてこれらの有力国人によって白河荘が支配された。安田城は中世には安田氏の居城であったが中世末の天正２年（1574）「安田氏給分帳」によると安田氏は伝来の白河荘のほかに北蒲原郡、中蒲原郡、南蒲原郡にも領地を持っており家臣にその一部を与えている。家臣は「給分帳」によれば109名という。

慶長３年（1598）上杉景勝が会津移封になると、安田堅親（15代）も上杉領の仙道に移った。安田はその後、村上藩領となり知行７千石の吉武右近が在番し、元和4年（1618）村上氏移封後、村上藩主となった堀直竒（ほりなおより）の支配になり、一国一城令（1615）が公布されると安田城は元和8年（1640）破却された。寛永16年（1640）堀直重（後に直時に改名）が3万石を与えられ安田藩主となり、正保元年（1644）その子直吉（なおよし）が安田、笹岡方面と村松藩の領地替えを認められ、村松に陣屋を設置し村松藩と改めた。

採集越前焼について

安田城跡踏査の折、日本六古窯の一つである越前焼の中世陶片を発見した（写真）。壺の陶片と考えられるが、細片の為、詳細年代を特定できる部位ではなく、年代観を述べるには危険であるが16世紀頃の所産と考えている。中世能登半島の珠洲付近で焼成された珠洲焼と流通範囲が重なり珠洲焼が越前焼に駆逐され置き換わる。主に壺、擂鉢、甕が生産された。当地において、安田城が存在した考古学的物証として貴重であり細片であるが紙面を借りて紹介する。

安田城採集越前焼

参考「越後野志」より「安田城」の項

白河庄保田ニ在リ、保田兵庫頭、ソノ後長尾俊景、天文十一年、篠塚宋左衛門尉ヲ城代ト為、天文十七年戊申五月七日、本庄繁長・新発田長敦、宇佐美定満之ヲ攻テ城ヲ抜キ、篠塚宋左衛門尉ヲ斬、十月十日上杉定実候堀越金津保ヲ安田治部少輔ハ殊ニ剛強ノ勇士ニテ、永禄四年九月十日川中島ノ役ニ有大候之ヲ賞シ感状ヲ賜フ、上杉家ノ安田新六朗ハ裔也、土人伝説ニ曰、景勝卿ノ時、安田因幡守城主ニテ、其禄一万五千石、其子ヲ安田主水ト云、上杉国替後、慶長中本庄城主村上周防守領地トナリ、其臣吉武右近ヲ城主トス、其禄七千石、寄騎士二十人、元和八年城ヲ破却ス火災数ナルニ因テ、延宝三年町地割改ムル、猶又火災不止、故安字ヲ保ニ改ム、

吉田東伍記念博物館　企画展

名著完結110年「大日本地名辞書・続編」と「世阿弥十六部集」

会期／令和元年 **9月21日(土)～12月1日(日)**

会場／市立吉田東伍記念博物館

サロンコンサート vol.17　木管五重奏の愉しみ

♪日　時：**令和元年10月6日(日) 14:00～15:00(開場13:30)**

♪会　場：市立吉田東伍記念博物館 附属 吉田東伍生家（旧旗野邸）大広間

♪出　演：フルート：鈴木　理　　オーボエ：田中 理恵　クラリネット：丸山　泉
ファゴット：高須 理栄　　ホ ル ン：越野 俊彦

♪曲　目：**モーツァルト 歌劇「魔笛」序曲（木管五重奏版）**
日本の歌 メドレー（ずいずいずっころばし、浜辺の歌ほか）
フォスター メドレー（故郷の人々、おおスザンナ、草競馬ほか）
HAPPY BIRTHDAY TO YOU（木管五重奏版）

♪入場料：博物館入館料（一般 300 円／小中学生 150 円）
※友の会会員は無料

♪申込不要（直接会場にお越しください）

友の会伝言板　事務局より

①「夏休み子ども博物館」として、8月2日(金）に「とんとむかしを聞く会」、8月3日(土）に「Togo Museum Emsemble 第21回演奏会 0歳からのファミリーコンサート」を開催しました。恒例のTME演奏会では、子どもから大人まで、弦楽器の美しい響きを体験・体感するひとときになりました。

②新潟日報「おとなプラス」令和元年7月18日号で吉田東伍が特集されました。友の会の活動も紹介されています。ぜひご覧ください。

③「大人のための千秋さんぽ」（主催：新潟市秋葉区役所地域振興課）が開催されます（申込は終了)。吉田東伍の次男・千秋を知るための連続講座です。当会と連携する吉田文庫、そして、「ちあき」の会が企画・運営に協力されています。

④新規会員を募集しています！ ご近所、ご家族、ご友人に入会のお声がけをお願いします。

⑤原稿を募集しています!『友の会通信』の「会員の研究ノート」「会員随想」「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。

⑥今年度会費の未納の方は納入をお願いします。
会費(年額)／一般：2,000円　　学生（大学生以下）：500円
家族会員：3,000円　賛助会員：1口 10,000円
納入方法／博物館受付で直接納入するか、振込用紙をご利用下さい。

編集後記

友の会活動の企画は、定期的に開催する運営委員会で検討します。楽しい四方山話も交えながらの時間はいつもあっという間です。残暑厳しい8月22日(木)午前9時から開催した運営委員会もいつもと同様。研修旅行の内容を練り、先般DMをお送りした「世阿弥大学」（9月23日開催）やサロンコンサートに向けた吉田東伍生家の清掃作業や様々な段取り、そして、後期に開催予定の研究発表会の依頼など、様々な談論が繰り広げられました。こうしてかたちになった友の会行事に、ぜひご参加いただければ幸いです。

（事務局T）